

「第3回 四国オープンイノベーションワークショップ in 高知」 ～オープンイノベーションによる四国地域の産業活性化を目指して～ (高知：H30.1.31)

国立研究開発法人 産業技術総合研究所四国センターは、オープンイノベーションによる四国地域の産業活性化を目指して「健康・介護・食品」および「ものづくり・防災・農業」に関する多様な技術シーズを発表し交流を促進する「四国オープンイノベーションワークショップ in 高知」を開催します。

【開催趣旨】

本ワークショップは、組織の枠や県の枠を越えて、四国地域の大学、国立研究機関、公設試験研究機関、高等専門学校、企業、産業支援機関などの研究・開発に携わる人々が一堂に会し、各機関の取り組みを勉強するとともに、今後の交流のための人的ネットワークの形成を促すことを通じて、多様な技術や理念を融合し、単独では取り組めないテーマ、多くの組織が参加するテーマを立ち上げ、その中で各組織が新たな事業展開を目指すものです。

本ワークショップが契機となって、四国地域の交流が活性化し、全国から注目を集めることができるような活動に発展することを願っています。

【日 時】 平成30年1月31日（水）9:50～17:00(9:30～受付)

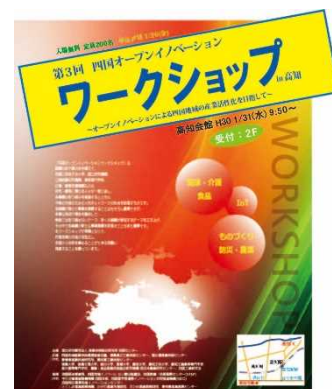
【会 場】 高知会館（高知県高知市本町5-6-42）

【定 員】 200名

【参加費】 無料

【プログラム概要】

- 9:50～10:00 開催挨拶
- 10:00～11:00 基調講演1「食の統合的価値（SEDAモデル）を考える」
高知大学副学長兼地域連携推進センター長 受田 浩之 氏
- 11:00～12:00 基調講演2「ドローンに関する産業応用、研究開発、社会実装の動向について」
産総研 知能システム研究部門 フィールドロボティクス研究グループ長 加藤 晋
- 12:00～13:00 休憩
- 13:00～15:30 講演
 - ・第1会場：「健康・介護・食品」に関する各機関の技術シーズ（7件）の発表
 - ・第2会場：「ものづくり・防災・農業」に関する各機関の技術シーズ（7件）の発表
- 15:30～17:00 ポスターセッション
各機関の技術シーズ紹介ポスター（70件程度）を展示しポスター毎に各機関担当者が説明



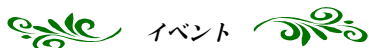
【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

AIST 四国

検索

CLICK!!

<http://www.aist.go.jp/shikoku/ja/news/itemid3273-003938.html>



第104回「高松5：30クラブ」

【開催趣旨】

地域を元気にする意欲に燃えた人が集まり、肩書き抜きで交流する場、普段なかなか知り合えないような人が一同に集まり、ネットワークの輪を広げる場として「高松5：30クラブ」を開催しています。多くの方々の交流の場となるよう、皆様のお知り合いの方にも広くお声をかけて頂きますようお願いいたします。

【日 時】 平成30年2月7日(水) 17:30～

【会 場】 香川大学 オリーブスクエア 2階 多目的ホール (香川県高松市幸町1-1)

【参加費】 1,000円

【お申込み】 オンライン登録(下記URLより(締切:1月25日(木))
<http://www.tri-step.or.jp/event/530club.html>

【事務局:7機関】

四国経済連合会、高松商工会議所、香川大学、香川経済同友会、産総研四国センター、四国経済産業局、四国産業・技術振興センター

【問い合わせ先】

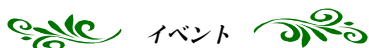
一般財団法人 四国産業・技術振興センター 担当 糸井
〒760-0033 香川県高松市丸の内2-5
TEL:087-851-7025 FAX:087-851-7027 E-mail:step@tri-step.or.jp

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

高松5:30クラブ

検索 CLICK!!

<http://www.tri-step.or.jp/event/530club.html>



産総研コンソーシアム 「持続性木質資源工業技術研究会 地域セミナー in 四国」

【開催趣旨】

産総研コンソーシアム持続性木質資源工業技術研究会は、産業界、学界、公的研究機関等の関係者により、持続・再生可能な木質資源を工業的に広く利用する技術に関連して、産学官技術情報交流及びその他関連の諸事業を行い、広く社会に貢献することを目的としています。

この度、四国では初開催となる「地域セミナー」が開催されます。是非ご参加ください。

【日 時】 平成30年2月8日(木) 13:30～17:30

【会 場】 香川県産業技術センター 3階 会議室 (香川県高松市郷東町587-1)

【参加費】 無料

<前ページから>

【お申込み】 FAX、E-mail(締切：2月6日(火))

【プログラム】

- 13:35～14:15 「木材の諸特性(熱・水による軟化・形状固定、強度や変形特性など)の制御(化学的、物理的方法)」
京大大学生存圏研究所 教授 金山公三氏(研究会顧問;設立者)
- 14:15～14:55 「研究会による連携の成果」成果の実用化紹介(不燃木材、流動成形など)
産総研 構造材料研究部門 循環材料グループ 主任研究員 三木 恒久(研究会事務局長)
- 15:10～15:40 「産業技術センターの連携活動紹介」
香川県産業技術センター 主席研究員 大北 一也 氏
- 15:40～16:30 【研究トピック】「木材の薬液含浸処理のポイント」
京大大学生存圏研究所 学際萌芽研究センター 研究員 田中聡一 氏

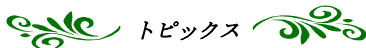
【問い合わせ先(申込み先)】

持続性木質資源工業技術研究会事務局

TEL:052-736-7527 FAX:052-736-7533 E-mail:jizokusei-mokushitsu-ml@aist.go.jp

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/sangi/04/18-02.html#01>



産総研の最近の主な研究成果 (平成29年12月のプレス発表より)

<発表・掲載日:2017/12/01>

高効率な電圧スピン制御を実現する磁気メモリ用材料を開発 —低消費電力の電圧制御型磁気メモリの実用化に前進—

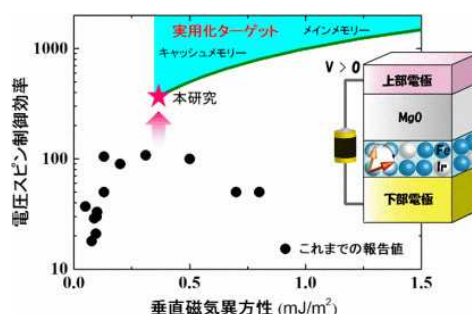
【ポイント】

- ・イリジウム鉄合金の超薄膜磁石の電圧スピン制御効率が従来の3倍に
- ・電圧制御型磁気メモリの実用化に求められる電圧スピン制御効率を初めて達成
- ・待機電力不要で、駆動電力が小さい究極の不揮発性メモリの実現に道

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171201/pr20171201.html

(スピントロニクス研究センター)



<次ページへ>

<前ページから>

<発表・掲載日：2017/12/04>

先島諸島では、1771年八重山津波と同規模の津波が、過去2千年間に約600年の間隔で4回起きていた

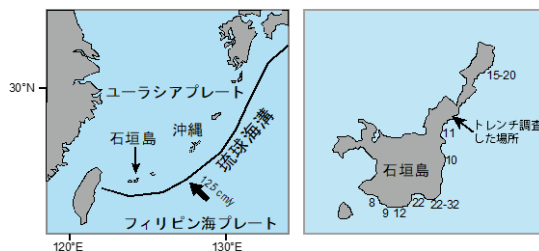
【ポイント】

- ・先島諸島で初めて、津波堆積物の分布を正確に把握できる場所を発見
- ・過去2千年間に約600年間隔で、1771年八重山津波とほぼ同規模の津波が、4回起きていたことが判明
- ・従来“津波地震”と考えられていた八重山地震が、激しい地震動を伴う“巨大地震”であったと推定

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171204/pr20171204.html

(活断層・火山研究部門)



<発表・掲載日：2017/12/05>

常温・大気中で作製できる酸化タングステン系ガスクロミック調光膜 —省エネルギー窓ガラスに向けた新技術—

【ポイント】

- ・酸化タングステン系ガスクロミック調光膜を常温・大気中、化学溶液法で作製して、性能を確認
- ・一種類の膜のみでデバイス化でき、また真空装置が不要なため膜製造コストを大幅に低減可能
- ・常温で成膜できるため耐熱性の低いプラスチック系の基板への適用も可能

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171205_2/pr20171205_2.html

(構造材料研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2017/12/05>

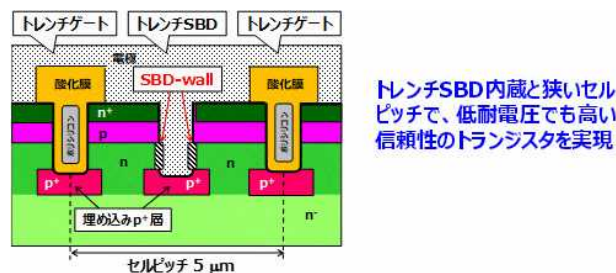
1200ボルトクラスのショットキーバリアダイオード内蔵SiCトランジスタを開発 —ハイブリッド車(HEV)/電気自動車(EV)向けの高効率・高信頼パワーモジュール実現へ—

【ポイント】

- ・1200 V耐圧クラスのトランジスタの量産レベル試作品で内蔵ダイオードが順方向劣化しないことを実証
- ・ショットキーバリアダイオード(トレンチSBD)内蔵のSiC縦型トレンチMOSFET(トランジスタ)を開発
- ・HEVやEV向けのオール炭化ケイ素(SiC)パワーモジュールの高効率化・高信頼性化に貢献

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171205/pr20171205.html
(先進パワーエレクトロニクス研究センター)



トレンチSBD内蔵と狭いセルピッチで、低耐電圧でも高い信頼性のトランジスタを実現

<発表・掲載日：2017/12/11>

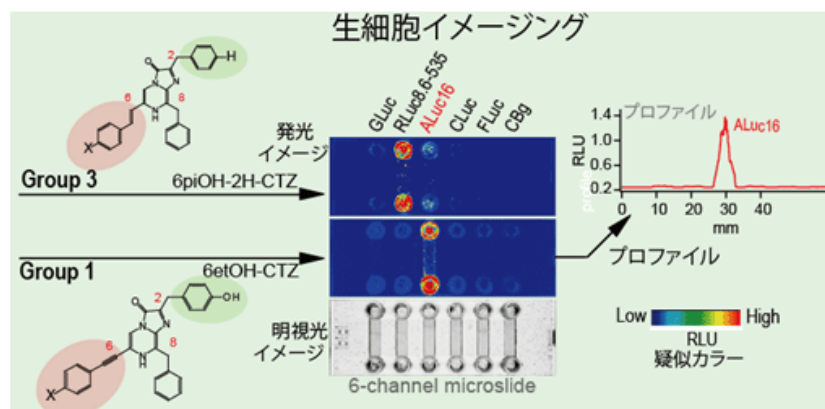
人工生物発光酵素(ALuc®)に選択的に発光する基質を開発 —信号コンタミのない高速バイオアッセイによる革新的な医療・環境診断へ期待—

【ポイント】

- ・人工生物発光酵素(ALuc®)とウシシイタケ発光酵素(RLuc)に選択的な発光基質の開発
- ・発光スペクトル間のコンタミ問題を解消
- ・複数種の発光酵素共存下でのバイオアッセイを可能に

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2017/nr20171211/nr20171211.html
(環境管理研究部門)



<次ページへ>

<前ページから>

<発表・掲載日：2017/12/25>

共生細菌が示す第3形態のべん毛運動を発見

—学習院大学の研究グループと産総研の共同研究が英科学誌「The ISME Journal」に掲載—

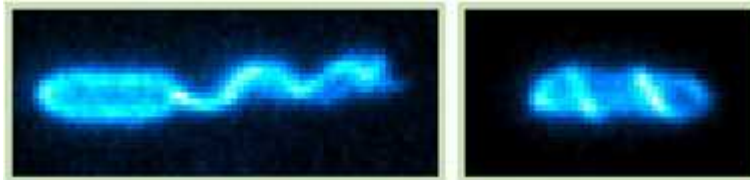
【ポイント】

- ・カメムシの共生細菌バークホルデリアが、運動器官であるべん毛繊維を体に巻き付けながら遊泳することを発見
- ・べん毛繊維の巻き付け運動は、粘着環境や凸凹した基質表面での運動に有利
- ・特異な運動は基礎研究としての面白さだけでなく、将来的な害虫駆除剤開発等の応用研究の発展にも貢献

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171225/pr20171225.html

(生物プロセス研究部門)



他機関の情報

かがわ糖質バイオフィォーラム第10回シンポジウム

(主催：かがわ糖質バイオフィォーラム、(公財) かがわ産業支援財団)

【開催趣旨】

かがわ糖質バイオフィォーラムでは、産学官の連携と特徴ある糖質の機能性などについて、最新の研究内容を情報提供することを目的にシンポジウムを開催しています。

今回は、臨床生化学の見地から種々の疾患に有効な食品成分の研究をされ、特定保健用食品や機能性表示食品について深い知見を有する鈴鹿医療科学大学副学長 長村 洋一 氏と、健康科学・素材科学・おいしさの科学の3つの科学のシナジーで、世界でNo.1のおいしさ与健康の創造に取り組んでいる江崎グリコ株式会社取締役常務執行役員研究部門統括 兼 健康科学研究所長、グリコ栄養食品株式会社代表取締役社長 栗木 隆 氏をお招きして、ご講演いただきます。

【日 時】 平成30年1月24日(水) 13:30～16:15

【会 場】 かがわ国際会議場(香川県高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー タワー棟6階)

【参加費】 無料

【お申込み】 FAX、E-mail(締切:1月19日(金))

<次ページへ>

AIST SHIKOKU NEWS

2018年1月号
2018.1.12
NO.158-7

発行：国立研究開発法人産業技術総合研究所四国センター <http://www.aist.go.jp/shikoku/>

<前ページから>

【プログラム】

13:30 開会挨拶

(公財)かがわ産業支援財団 理事長 大津 佳裕 氏

来賓挨拶

香川県 知事 浜田 恵造 氏

香川大学 学長 笥 善行 氏

13:50～14:50

講演①「保健機能食品への期待と問題点」

鈴鹿医療科学大学 副学長 長村 洋一 氏

14:50～15:10 休憩

15:10～16:10

講演②「糖質工学研究から産業を立ち上げる」

江崎グリコ株式会社 取締役常務執行役員研究部門統括兼健康科学研究所長

グリコ栄養食品株式会社 代表取締役社長 栗木 隆 氏

16:10 閉会挨拶

かがわ糖質バイオフォーラム 会長 田島 茂行 氏

【申込み先】

かがわ糖質バイオフォーラム事務局(公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課 宮本)
〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM 香川1階

TEL:087-840-0338 FAX:087-864-6303 E-mail:glycobio-pt@kagawa-isf.jp

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

かがわ糖質 10回

検索

CLICK!!

http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/web/upfiles/wedc39171220170829_f02.pdf



他機関の情報



先端工学研究発表会2018～工学部から創造工学部へ～

(主催：香川大学工学部)

【日 時】平成30年1月29日(月) 13:30～17:30(受付開始12:50～)

【会 場】香川大学工学部林町キャンパス3号館3階(香川県高松市林町2217-20)

【プログラム】

○第1部 講演会(3301講義室)

13:30～13:40 開会挨拶

13:40～15:00 「工学部創立20周年の感謝と創造工学部新設の紹介」

15:10～16:10 「地元機関からみた工学部 ショートスピーチ」

○第2部 研究・技術交流会 16:20～17:30

・研究機関合同パネル展示(3号館3階ロビー、3302講義室)

・企業向け技術面談会～企業が儲けたい市場の技術課題についての面談会～(3304講義室)

・TOP情報交換会(本館1階会議室)

【問い合わせ先】

香川大学工学部

TEL:087-864-2000 E-mail:info@eng.kagawa-u.ac.jp

<次ページへ>

<前ページから>

【プログラム等の詳細はこちらから】

先端工学 2018

検索

CLICK!!

https://www.kagawa-u.ac.jp/event_calendar/archive-2017/01/19847/



他機関の情報

第2回CNF技術セミナー

(主催：経済産業省四国経済産業局、(一財)四国産業・技術振興センター)

【開催趣旨】

四国CNFプラットフォームでは、CNFを研究・製造している企業研究者やCNFを研究している大学研究者等を講師としてお招きし、CNFの開発状況や特徴、応用例などの技術シーズを紹介していただく「CNF技術セミナー」を開催しています。

今年度、第2回目のCNF技術セミナーでは、大阪大学／能木雅也教授、産業技術総合研究所／伊藤弘和主任研究員よりご講演いただくこととしております。

【日時】平成30年2月7日(水) 14:20～16:40 (交流会終了 19:00)

【会場】ホテルグランフォーレ「ポラスター」の間(愛媛県四国中央市三島朝日1-1-30)

【定員】80名(定員になり次第締め切り)

【参加費】無料(交流会参加時 会費:3,000円 会場:「天空」の間)

【お申込み】FAX、E-mail(締切:1月26日(金))

【プログラム】

- ・講演「ペーパーエレクトロニクス:CNFの新たな展開に向けて」
大阪大学 産業科学研究所 教授 能木 雅也 氏
- ・講演「セルロースナノファイバーの実用化に向けて」
産総研 機能化学研究部門 セルロース材料グループ 主任研究員 伊藤 弘和
- ・名刺交換会

【問い合わせ先(申込み先)】

一般財団法人 四国産業・技術振興センター 産業振興部 担当 村山・今田
〒760-0033 香川県高松市丸の内2-5
TEL:087-851-7025 FAX:087-851-7027 E-mail:cnf@tri-step.or.jp

【プログラム等の詳細はこちらから】

CNF セミナー 2回

検索

CLICK!!

<http://www.tri-step.or.jp/event/2018.02.07CNFTechnicalSeminar.pdf>